

層雲峡ビジターセンター



早春の陽光にかがやく冠雪（大函）

1月中旬から始まったビジターセンター冬季観察会は2月の最終週をもって今季の催行を終了しました。コロナ禍にもかかわらず、層雲峡まで足を運んでくださった皆さん、ありがとうございました。

今季はニセイチャロマップ川から流れ込む水の量が例年よりも多く、シーズンはじめには本流沿いを歩くことができずに、ニセイチャロマップ林道の氷柱群のみでの実施となりました。来季以降も水量が増える可能性があり、いままでのように、大函の柱状節理を間近に見たり、氷瀑に触れたりできるかどうかは微妙な情勢です。

また、冬季観察会を始めた2015～2016シーズンには、実施期間が12月下旬から3月中旬までだったことを考えると、ここ6年ほどで期間がひと月ほど短くなっているのも気になります。気候変動にともなって冬が短くなったということなのでしょうが、わずか数年でここまで変化するとは、驚くばかりです。

今季のニセイチャロマップ林道の氷柱群は、過去5シーズンで最高の出来栄でしたが、2018～19シーズンのようにまったく氷柱が出来ずに終わった年もあり、雪氷現象にも紅葉のように“当たり年”“外れ年”があります。来季が“当たり年”になるかどうかはわかりませんが、自然の旬をたのしむ観察会にぜひ足を運んでいただきたいと思います。

なお、2022年度の年間行事予定については次ページ（裏面）をご覧ください。

2022年度 層雲峡ビジターセンター年間行事のご案内

野鳥観察会

実施場所：上川公園

期日：5月8日

内容：大雪山麓に生息する野鳥の観察と野鳥標識員の調査方法を学ぶ

定員：10名

季節の観察会

実施場所：季節により観察地を決定

期日：6月12日・7月24日・8月14日・9月11日・10月16日

内容：大雪山国立公園内外の特徴ある地形・動植物・湿原・紅葉などを観察する

定員：5名

峡谷紅葉散策

実施場所：紅葉谷・黒岳沢などを予定

期日：10月8・9・10・15・16日

内容：層雲峡峡谷の国道沿いや周辺で見られる黄紅葉する樹木などを観察する

定員：5名

冬季観察会「氷の世界へ」

実施場所：大函・ニセイチャロマップ林道などを予定

期日：2023年1月21・22・28・29日 2月4・5・11・12・18・19日

内容：層雲峡周辺で見られる柱状節理などの地形や雪氷現象を観察する

定員：5名

編集後記

今号より紙面を刷新いたしました。

いまどき紙媒体が必要なのかという疑問から出発し、出す以上は紙媒体に求められる機能に専念しようという方針から、必要最小限の内容としました。今号の主な記事は、ビジターセンターの今季の行事予定です。詳細については、直接お電話でセンターまでお問い合わせください。

なお、リアルタイムの情報はビジターセンターのウェブサイトでご覧いただけます。

層雲峡ビジターセンター

電話 01658-9-4400

ウェブサイト <http://sounkyovc.net>

〒078-1701 北海道上川郡上川町字層雲峡